Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU

P-F-6

密蜂花粉による脳梗塞改善作用の薬理学的研究

黒竜江省中医研究院中薬薬理研究室
杜　旭、○劉　瑞海

目的・近年、世界各国において、蜜蜂花粉についての薬理学的および臨床的研究が盛んに行われて来たが、脳血管障害に対する研究は見られなかった。「本草綱目」等に「蒲黄は生で行らし、熟で止める」、「淤を行らし、血を活かし、経脈を通ずる功がある」と記されているから、我々は黒竜江省の蜜蜂花粉で顆粒剤を作って、脳梗塞患者に対する改善、特に半身不随症状の回復効果を確認し、また、花粉の血栓形成を抑制する作用、血液凝固阻止作用、血管拡張作用および筋力増強作用等の薬理作用が認められたので報告する。

方法・体重250g Wistar 系雄性ラットより採血し、WTP-A型血栓形成器に置き38±0.5℃15分間廻ってから形成した血栓の長さと重さ、および大耳白系家兎総頸動脈を結紮した2時間後に生じた血栓の長さと重さを測定した。昆明系マウスの出血時間、凝固時間と家兎血漿カルシウム再加時間を測った。Krawkow-Pissemiski法によって、家兎耳介血管灌流をした5分間の流出量を光電計滴器で記録した。Surberらの傾斜面法で45度傾斜させた幅8 cmの金網にマウスを置き、落下する時間を調べた。

結果・蜜蜂花粉10g/kg、7日間連続経口投与により、in vitro血栓の長さと重さは対照群に比べて各々24.0%と19.8%減少する有意差が認められた。家兎に10g/kg、10日間経口投与して、総頸動脈の血栓の長さと重さは対照群より46.4%と38.9%の著しい減少を示した。昆明系マウスに10g/kg、7日間連続経口投与後、出血時間と凝固時間は対照群より各々50.5%と51.4%の有意的な延長が認められた。家兎血漿カルシウム再加時間は25%、50%花粉を加えた場合68.9%、525.2%と延長させた。家兎in vitro 耳介血管灌流で、5分間の流出量は対照より64.6%増加する有意差が認められた。筋力に関する実験には10g/kg花粉を7日間連続経口投与したマウスは斜面に留まる時間が対照群より140.3%と有意な延長を示した。

結論・上に述べた実験結果によって、蜜蜂花粉はin vitroとin vivo血栓形成を抑制する作用、血液凝固を阻止する作用、血管拡張する作用および筋力増強する作用が明らかになって、歴代の医書に記された功効と相一致した。蜜蜂花粉が脳梗塞に対して、標本兼治という良効のあることが示唆された。

NII-Electronic Library Service